



オランダ・キューケンホフ公園
写真提供／オランダ国際球根協会

チエーリツプ 四季だより

1999. 夏号
Vol.11

景洪の街で

社団法人フラワーソサエティー会長

妻鹿 加年雄氏

植物と遊んで六十年経ちました。

その人生に悔いはありませんが、強いて言えば植物園に勤められなかったのが残念です。特に植物園の温室で、熱帯植物に囲まれないのが夢でした。

南の国が憧れだったのです。

それは多分に、生来痩せていて皮下脂肪がなく、寒さに弱いという生理的な理由もあるでしょう。しかし子供の頃に読んだ少年雑誌の南洋物の影響が大きいかと思っています。

『吠える密林』『冒険ダン吉』などの小説や漫画が、南国への心の扉を

開けたのです。

今にして思えば、第一次世界大戦で連合国に組みしてドイツに勝って南洋群島を支配することができ、日清・日露の戦役で足場を築いた大陸では得にくい近代国家発展に必要な物資の豊富な南太平洋を目指して、西欧諸国には遅れ馳せながら乗り込もうとしている時代でした。

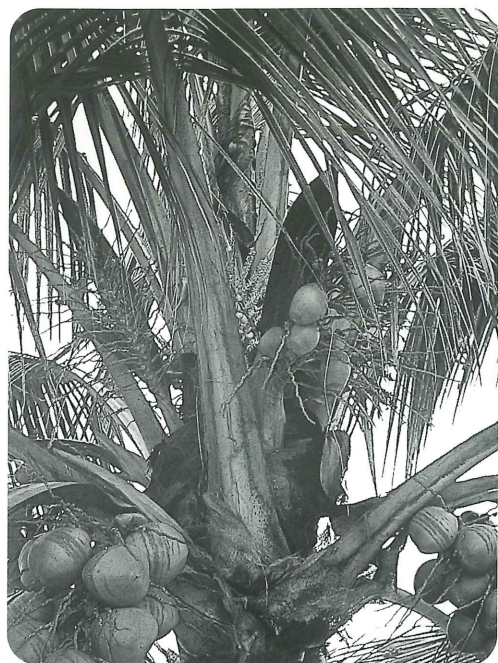
いわば単純に国策に乗せられた格好で、南国とこの植物に惹かれたのでした。

そしてその気持ちに駄目押ししたのが一冊の本でした。昭和十年代初期に出た『椰子の木陰で』

という標題です。海辺に立つココヤシのシルエットが描かれた表紙を今でもはっきり覚えて

います。世界中の誰もが南の島のシンボルといえばココヤシ

▲ココヤシは南国のシンボルだが、やはり実がなっていないとサマにならない



▲景洪のような内陸でもココヤシ並木は情緒たっぷりだ

と思っているようですが、私もそうでしたし今もそうです。

今となればココヤシも見慣れたし、植物そのものなら日本の温室に植わっています。それでもココヤシが街路樹になっていると聞くと見てみたくて、西双版纳の景洪へ行ってきました。メコン川の上流を見たい気持ちもありました。

なるほど景洪はヤシの街でした。ただだいたいはいはアブラヤシです。現地ガイドさんの話では油は採っていないそうです。観賞樹としてはさほど美しくないのに、なぜ街路樹になっているのかよくわかりません。

以前のことですが、北京郊外のポプラ並木は農道の日除けであると同時に、十分に生長した後には木材と

▲アブラヤシの街路樹が多いが、風情としてはイマイチの感が拭えない





▲楊貴妃を呼んでやりたいライチーの豊かな稔り

景洪に民族風情園というのがあります。雲南省は少数民族の多

く、苗木も成木なみに扱うのはこの国では珍しくあります。外観を気にせず引っこ抜くなどの悪戯がなければ、苗木で植えるのが経済的でしょう。

楊貴妃の時代と違って今では日本でも容易に口にできるし、木はかなりの耐寒性があるので私も大阪で栽培していますが、植物はやはり現地で育っているのを見、味わうべきものではないでしょうか。

いとこで、この民族風情園は彼等の民家や歌や踊りやを見せるのですが、実態はライチー荔枝の林と言ってよいでしょう。要するにライチーの果樹園を観光用に再開発しようとしているらしいのです。少数民族の生活にはほとんど興味がない私にとっては、ライチー園に入れたことが喜びでした。



▲生産即売のライチーは、日本の店頭のと味は変わらなかった

して利用するのだということでした。南京の素晴らしいプラタナスのトンネルは、中国屈指の灼熱の地として有名なこの街の気温を下げる効果があると、市人民政府の人が自慢していました。

いかと想像してしまいます。そして今はもうその必要がなくなったほどに豊かになったということでしょうか。それとも採油量が十分ではないのかもしれませんが。付近にもマレー半島で見えるようなアブラヤシのプランテーションはないようでした。

ココヤシの並木はありましたが、ごく一部で、期待外れでした。その

めが かねお



略歴

昭和三年 大阪市に生まれる

二十三年 (旧制) 姫路高等学校卒業

二十六年 (旧制) 京都大学農学部農学科卒業

三十四年 大阪府立大学農学部園芸学科助手退職

五十九年 大阪府立農林技術センター所長退職

六十三年 メガ園芸株式会社取締役会長退職

平成一年 伊東学園嘱託大阪テクノノホルティ園芸専門学校校長

三年 帝塚山学院大学非常勤講師退職

八年 伊東学園大阪テクノノホルティ園芸専門学校名誉校長

現在 藤井寺市緑化推進協議会会長、FAGOT99実行委員会副委員長、大阪国際園芸フェア実行委員会相談役(財)園芸文化協会研究顧問、(社)家庭園芸普及協会研究顧問、日本ガーデニングクラブ顧問。その他藤井寺市、高槻市、高石市等の園芸講習会講師、NHKテレビ趣味の園芸講師。著書に花木・庭木の鉢植え文化出版、庭木の育て方(ひかりのくに)、手抜き剪定(家の光協会)、花木100種の剪定(日本放送出版協会)、花木の剪定ポケット事典(同)ほか多数。



▲キューケンホフ公園入り口

オランダのチューリップ公園

キューケンホフ

Keukenhof

開園50周年

ーオランダ・リッセ市ー

『伯爵婦人の台所の庭
「キューケンホフ」』

キッチン ガーデン

現在キューケンホフ公園のある地域は、十五世紀には森と砂丘の連なる自然豊かな地であり、テイリンゲン城の住人たちが狩りを楽しんでいました。一四〇一年から一四三六年にかけてこの一帯は、ハイノルト家のジャクソン婦人の所有地の一部でした。伯爵夫人はこの地で側近とともに狩りをしたり、台所で調理される野菜や香草類が栽培されていたことから、「キューケン(台所)」「ホフ(庭)」と呼ばれるようになりました。

一八三〇年にキューケンホフ公園として初めて整備され、ドイツ人の造園技師ゾッハーにより、英国風の庭園に仕上げられたのでした。

『世界最大の
花のショーケース』

花のショーケース

一九四九年、リッセの有力な球根栽培業者のグループが、屋外での大掛かりな花の展示会を企画しました。この展示会は「キューケンホフ公園」という名のもと、球根及び花き

▼ユリの展示(パビリオン内)



産業のショーケースとしてそのまま来園者が見て楽しめるものでした。開園当初の四十業者から現在では九十の球根及び花き業者が参加し、いわゆる「王宮御用達」の栽培家たちも活躍しています。

三十ヘクタールの園内では、毎年チューリップを中心にスイセンやヒアシンス、ムスカリ、フリチラリアなど千百品種、六百万球の球根植物が定植され、二ヶ月間の会期中を通して色とりどりの花々が咲き誇ります。また、園内に三か所あるパビリオンの中でも、チューリップやバラ、ユリ、アザレア、アマリス、ガーベラなどそれぞれの植物をテーマとした展示やフラワーアレンジを見ることが出来ます。



◀園路の寄せ植え

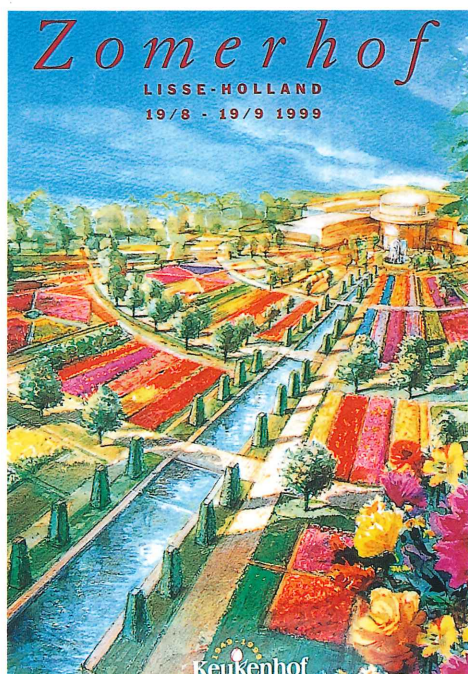
▼ガーベラの展示(パビリオン内)



『キューケンホフ公園
開園五十周年』

開園五十周年

今年、一九九九年で五十周年を迎えたキューケンホフ公園では、記念行事としてバヴァーリアのヤコバ伯爵婦人の歴史的な狩猟パーティー、「キューケンホフ公園五十年の歩み」と題したポスターによる回顧展、「過去、現在、未来」というテーマのもと彫像を展示した記念散歩道の建設、「光と色で遊ぶ」と題した写真展が開催されました。



▲夏期の展示会のポスター

また、キューケンホフ公園の五十
年の歴史を世界各国からの来賓の来
園と併せて写真でつづった記念誌、
『50 JAAR KEUKENHOF』が発行
されました。



▲50周年記念誌

『夏の庭園(Zomerhof)』

開園五十周年を迎えた今年、公園史
上初めて夏期の展示会が開催されます。
キューケンホフ公園の西側に新しく
増設された「夏の庭園(Zomerhof)」が
八月十九日から九月十九日までの一ヶ
月間一般公開されます。ダリア、ユリ、



▲樹齢150年のブナの老木

ペコニアといった
夏の球根花を中心
に、バラ、フクシ
ア、多年草植物類
が屋外で見られる
ほか、パビリオン
内でのシクラメン、
ペコニア、ガーベ
ラなどをメインと
するフラワーショ
ーや絵画などの展
覧会が開催予定で
す。

なお、二〇〇〇年の春
の展示会は三月二十三日
から五月二十一日までの
予定です。



チューリップの

タネと球根

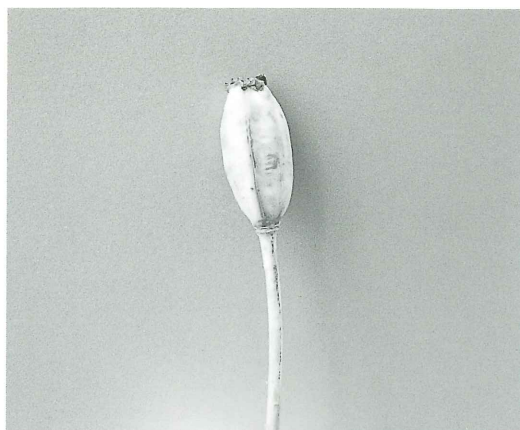
『チューリップのタネ』



現在では球根で花を咲かせるのが当たり前のチューリップですが、タネを見た経験はあるでしょうか。

実は「チューリップ四季だより 一九九八年春号 Vol.6」でタネの写真を一度掲載しましたので、記憶にあるかと思います。運がよければチューリップのタネは自然に出来てい

◀めしべのもと(子房)がふくらんだもの



◀成熟して割れ始めたさや



るのを見ることが出来ます。運がよければ、というのは、ほとんどの品種がもともとタネを残せない性質や、全く違う品種の花との間でなければ受精できない性質(他家受粉)を持つからです。

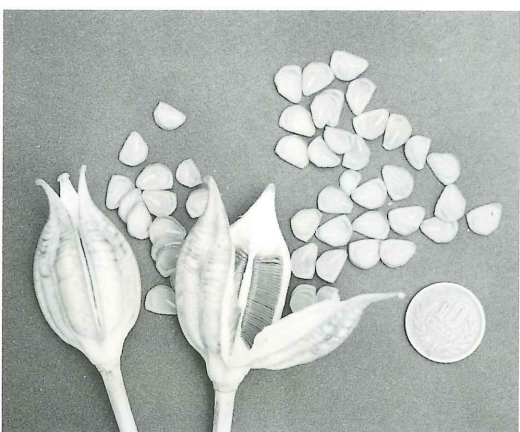
父株の花粉を母株に受粉させると、次第にめしべの基(子房)が肥大します。十分に熟すと自然に裂け目が入り、中に茶色の薄い三角形の形をしたタネがぎゅっしり詰まっているの

を見ることが出来ます。

ただし、出来たタネは撒いても一年目は「芽」が出るだけです。その根元についた豆粒ほどの球根をその年の秋土中に植え込むと、次の年の春は葉が一枚出る程度。そして、その根元には一年目より少し大きな球根が出来ています。これを毎年繰り返し、ようやく球根が大きくなり、初めて花を咲かせるまでには、なんと五〜六年もの歳月が必要なのです。

しかし、現在でもタネは利用されています。それは以前紹介したとおり、新しい品種を作る際に優れた性質を持つ二つの品種を交配し、タネを採り、約二十年かけてさらに優れた品種が作り出されるのです。

◀チューリップのタネ



『チューリップの球根』

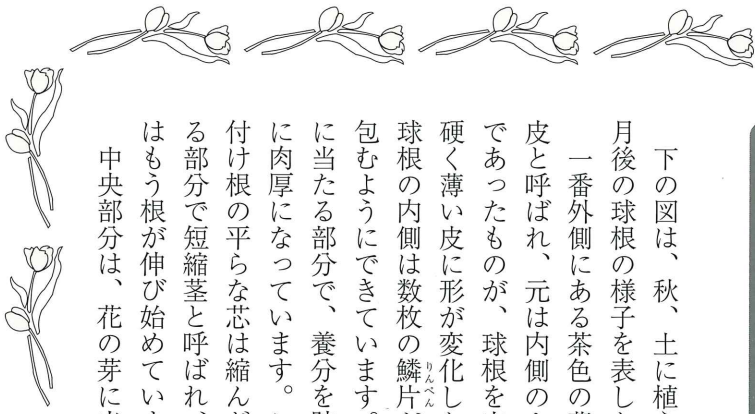


それに対して、チューリップの球根とはどのようなものなのでしょうか。

前々号でも紹介しましたが、チューリップの球根は、葉が肥大し、その組織内に多量の養分を貯え球状となったもので、鱗茎(りんけい)という種類に分類されています。この球根は通常、春花を咲かせた後、分球によって毎年数個の新球ができることによって繁殖していくのです。

それではその球根の内部はどのようなになっているのでしょうか。





『球根のしくみ』



▲チューリップの球根

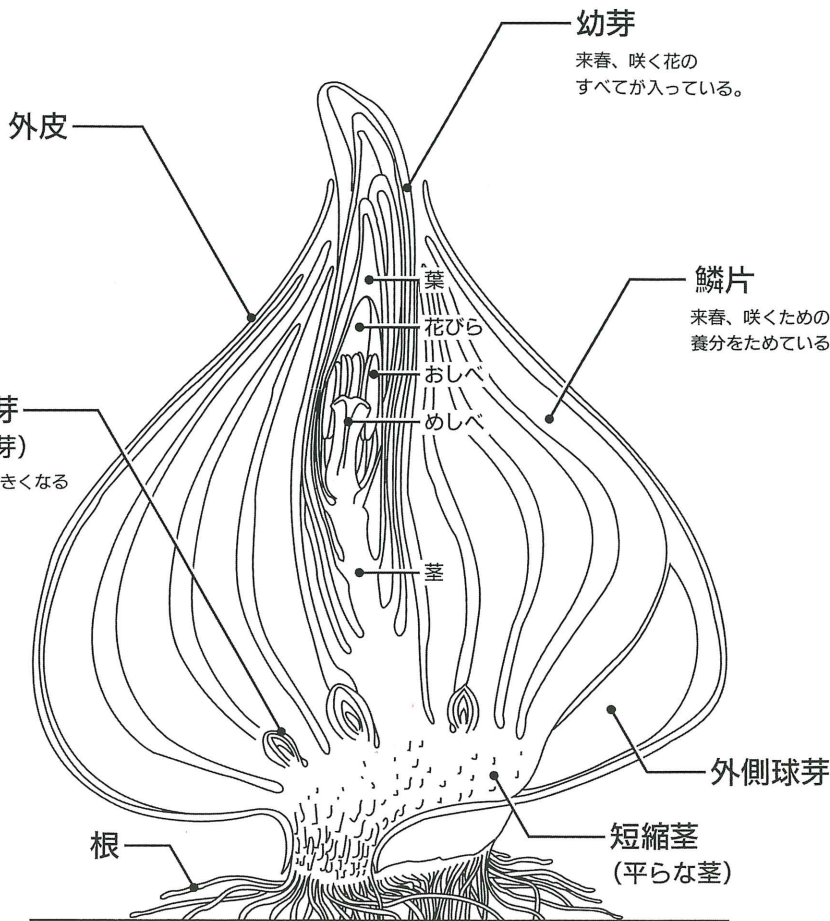
下の図は、秋、土に植えて約一ヶ月後の球根の様子を表したものです。一番外側にある茶色の薄い皮は外皮と呼ばれ、元は内側のように肉厚であったものが、球根を守るために硬く薄い皮に形が変化したものです。球根の内側は数枚の鱗片が中心部を包むようにできています。鱗片は葉に当たる部分で、養分を貯えるために肉厚になっています。この鱗片の付け根の平らな芯は縮んだ茎に当たる部分で短縮茎と呼ばれ、その下ではもう根が伸び始めています。

中央部分は、花の芽に当たる部分

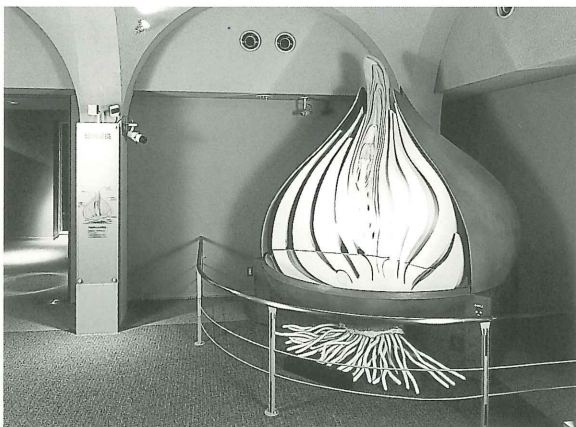
で、幼芽と呼ばれます。この中に来年咲くチューリップのすべての部分が隠れています。茎と四枚の若い葉、三角の柱のようなめしべとそれを取りまくような大きなおしべ、薄い膜状の来年咲くチューリップの花びら等、すでに春の用意が整っているのです。

ところで、次の年の春花が咲くと、球根は鱗片の養分が使われ、しぼんで枯れてしまいます。その一方で、各鱗片の付け根に一つずつあった子供の芽、子球芽が次の世代の球根として成長し始めるのです。

一番外側を外側球芽と呼び、中央寄りの最も大きく育つものを、主球芽と呼びます。この主球芽が、主に来年の販売用の球根になります。



▲球根の断面図 (植えて約1ヶ月後の球根)



▲チューリップ四季彩館内『球根探検』(球根の100倍の拡大模型)

このように、花とタネの性質や栽培様式によって繁殖法が選択されているのです。チューリップの場合、「タネ」と「球根」を比較するとやはり球根を用いて栽培する方が能率的であることに間違いありません。また、球根はその品種の体の一部から新しい球根が生まれるのですから、親と全く同じ性質のチューリップを次の年も咲かせることが出来るのです。

そうは言っても、自分だけのチューリップを作り、名付け親となってみるのも良いのではないのでしょうか。いまだに夢のチューリップと言われている「青いチューリップ」。どんなに挑戦してみませんか？

チューリップ四季彩館
からのお知らせ

いわさきちひろ複製画展

「花とこどもたち」



絵・いわさきちひろ
チューリップのある少女像(1973年)

愛と夢を描く「いわさきちひろ」の花やこどもたちが描かれた作品約60点を展示します。

と き 8月7日(土)～22日(日)
午前9時～午後6時(会期中無休)
※ただし期間中の土曜・日曜日は午後8時まで開催します。

ところ チューリップ四季彩館ホール

期間中特別入場料

全館共通 大人・高校生 500円(前売券 400円)
小・中学生 250円(前売券 200円)

主催／(財)砺波市花と緑の財団 協力／ちひろ美術館

○同時開催

特別企画展 『遊べるガーデンづくり』
企画展 『青い花々をあつめて』
常設展 『マイ・ガーデン』

○記念講演

『ちひろの世界～今、ほんとうの
やさしさを求めて～』

講師／安曇野ちひろ美術館 竹迫祐子氏
と き／8月7日(土)午後6時～
ところ／館内レストハウスかくれ庵 ※入場無料



チューリップ四季彩館
TONAMI TULIP
GALLERY

発行日 平成十一年七月一日

(財)砺波市花と緑の財団

〒九三九一―三八一

富山県砺波市中村一〇〇一

☎〇七六三一三三―七七一六

FAX 〇七六三一三三―〇〇九〇